埼玉大学先端産業国際ラボラトリー
第38回MiUワークショップ

オンライン開催 / 参加費無料

見えない脅威を知る

感染症の歴史から最先端研究・世界で進む制圧への挑戦

日時 2026年 12月17日(木)13:30～16:15

13:30-13:35　開会あいさつ・活動報告 ―― 埼玉大学大学院理工学研究科 教授　松岡 浩司

13:35-14:25 ―― 人の未来研究所　奥沢診療所　**山本太郎 氏**

人類と感染症

腸感染症とは何か？　新型コロナウイルスの流行を例に考えます。また、人類の歴史と感染症の流行を先史時代に遡って考察します。感染症は人類にとって敵だったのか？

14:30-15:20 ―― 京都大学　医生物学研究所　ウイルス制御分野　**橋口隆生 氏**

構造情報を活用したウイルスの病原性・感染制御の研究

我々は、小児・呼吸器関連のウイルス感染症の研究を行っています。特に、ウイルスの細胞侵入機構およびその阻害機構の解明に注力し、ウイルス学と構造生物学の手法を組み合わせた研究を進めています。本発表では最近の成果を議論したいと思います。

15:25-16:15 ―― 酪農学園大学　獣医学群獣医学類　教授　**蒔田浩平 氏**

ワンヘルス・教育・官民連携による顧みられない人獣共通感染症の制圧

タンザニアでブルセラ症と人獣共通結核を対象に実施中のJICA-AMED SATREPS事業について紹介します。牛の生血と生乳を飲む習慣がある地域でこれから介入していくフェーズにいます。

申込はこちら ▶

締切：12月17日(木)午前中

問い合わせ：miu@gr.saitama-u.ac.jp

WEBサイト：https://www.saitama-u.ac.jp/aiit/?p=3946